

平松礼二館 企画展

まてんろう
ニューヨーク・摩天楼を描く
12月27日(月)まで

平松画伯は、世界各国を旅して異文化に触れ、土地の風俗や地に根ざした人間を感じさせる作品を手掛けてきましたが、今回は、自然への感動とは正反対とも言える、都会の人工機能美に対する感動を表現した作品を展示します。

第2次世界大戦中に生まれ、青年時代をアメリカ文化の洪水の中で過ごした画伯は、新しい美術に対するあこがれと西洋一辺倒の美術教育に対する反発という矛盾する感情を抱いてきました。

ニューヨークのビルの高台から眺めたパノラマ風景を、見渡す限り描いてみたいという衝動に駆られたのも、アメリカへの挑戦だったのかもしれませんが。

華やかな近年作とは趣の異なる平松画伯の世界をお楽しみください。



平松礼二「NEWYORK TOWN (I)」

美術館



美術館ほっとニュース

収蔵品 小企画展 (企画展示室)

かとうしんめい
加藤晨明素描展
12月27日(月)まで

当館では、毎年収蔵品の中からテーマを決めて小企画展を開催していますが、今回は、湯河原に在住した画家・加藤晨明氏の素描を中心に、淡彩、小下図をあわせて紹介します。

加藤氏は、中村岳陵に師事し、院展、日展で活躍した日本画家です。舞妓や現代女性などの人物画を清楚な筆使いで描きました。昭和54年に湯河原に転居し、この地で亡くなりました。

昨年、加藤氏の遺族から寄贈された作品を中心に、本画制作の前に描かれる素描や、構図、配色など画想をまとめるために描く小下図など、作家の制作過程をうかがい知る貴重な作品を展示します。



加藤晨明「さっこの孝鶴」

～常設館の作品から～



今月の
1点

みやけ こつき そうしゅう
三宅克己「相州真鶴港全景」
昭和10年ごろ



三宅克己は、明治7年徳島に生まれ、イギリス人画家、ジョン・バーレイの作品に感銘を受けて水彩画専門の画家となることを決意しました。文展、帝展などで審査員を務め、日本芸術院恩賜賞を受賞しています。

52歳のとき、真鶴の港を見下ろす高台に住居を構え、東洋のリビエラとたたえて風光明媚な景色を繰り返し作品にしています。

画壇とは一定の距離をおきながら、英国風水彩画の技法による写実的な風景画を生涯描き続けました。

○ギャラリートーク

◆日時 10月17日(日) 10:30～11:00

◆問い合わせ 町立湯河原美術館 ☎63-7788

◆開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)

◆10月の休館日 6・13・20・27日

毎月第3日曜日は家庭の日。町民証提示で観覧無料です。